



福島医発第1785号(地)

平成25年10月23日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会長 松田 峻一良

(公 印 省 略)

子宮頸がん予防ワクチン接種後の痛みの診療について(その2)

現在、厚生労働科学研究費事業として「難治性神経因性疼痛の基礎疾患の解明と診断・治療精度を向上させるための研究」が実施されております。

今般、同研究班代表者の信州大学医学部内科の池田修一教授より「子宮頸がん予防ワクチン(HPVワクチン)接種後の痛みの診療について」が公表され、別添のとおり厚生労働省健康局結核感染症課より各都道府県衛生主管部(局)宛て事務連絡がなされた旨、日本医師会より通知がございましたのでお知らせいたします。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知のうえ、貴会会員に対する周知方についてご高配賜りますようお願い致します。

なお、標記ワクチン接種後の持続する四肢の痛みに関しては、平成25年9月30日付福島医発第1599号(地)でお知らせしました痛みセンター連絡協議会所属医療機関でも対応しており、成因解明は「慢性の痛み診療の基盤となる情報の集約とより高度な診療の為に医療システム構築に関する研究班」(代表者愛知医科大学牛田享宏教授)と協調して進められていることを申し添えます。

小郡三井医師会より

予防接種担当理事 松行眞門
会長 蒲池 壽

(地Ⅲ130)

平成25年10月15日

都道府県医師会

感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長

小 森 貴

子宮頸がん予防ワクチン接種後の痛みの診療について

現在、厚生労働科学研究費事業として「難治性神経因性疼痛の基礎疾患の解明と診断・治療精度を向上させるための研究」が実施されております。

今般、同研究班代表者の信州大学医学部内科の池田修一教授より「子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）接種後の痛みの診療について」が公表され、別添のとおり厚生労働省健康局結核感染症課より各都道府県衛生主管部（局）宛事務連絡がなされましたので情報提供いたします。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知のうえ、貴会管下郡市区医師会、関係医療機関等に対する周知方ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

事 務 連 絡
平成25年10月11日

各都道府県衛生主管部（局） 御中

厚生労働省健康局結核感染症課

子宮頸がん予防ワクチン接種後の痛みの診療について

本年6月に開催した第2回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会において公表したとおり、厚生労働科学研究費事業として「難治性神経因性疼痛の基礎疾患の解明と診断・治療精度を向上させるための研究」を実施しております。

この度、本研究班の代表者である信州大学医学部内科（脳神経内科、リウマチ・膠原病内科）の池田修一教授よりHPVワクチン接種後の副反応（主として痛み、しびれ、脱力など）について被接種者とそのご家族に対して適切な医療を提供するための診療体制の整備が整ったことから、別添のとおり「子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）接種後の痛みに診療について」が公表されましたので、業務の参考としていただけるよう情報提供いたします。

つきましては、管内市町村及び関係医療機関等に対しても情報提供していただきますようお願いいたします。

2013 年 10 月 11 日

子宮頸がん予防ワクチン(HPV ワクチン)接種後の痛みの診療について

厚生労働省慢性の痛み対策研究事業
難治性神経因性疼痛の基礎疾患の解明と
診断・治療精度を向上させるための研究

代表：池田 修一

厚生労働省の「慢性の痛み対策研究事業」を推進している当研究班では、複数の診療科の専門医が参画して、難治性神経因性疼痛の基礎疾患の解明と診断・治療精度を向上させるための研究を推進しております。また本年度は、厚生労働省健康局と協議の上、HPVワクチン接種後の副反応（主として痛み、しびれ、脱力など）について、その成因解明と適切な医療を提供するための診療体制を整備して参りました。

当研究班では、ワクチン接種との科学的関連性の有無にかかわらず、ワクチン接種後に重篤な副反応が発生した被接種者とそのご家族に対して、痛みの原因となりうる基礎疾患を検索し、同時に現在できうる最大限の治療を提供することが重要と考えています。

ワクチン接種後の注射部位の急性疼痛が軽快したにもかかわらず、四肢の痛み・しびれ、精神的不安定等の症状が持続している被接種者におかれては、本研究班のメンバーが所属する医療機関（下記）の受診をお薦めします。受診の際は、可能な限りこれまでの検査結果や診療内容が記載されている医療機関からの診療情報提供書をご持参くださいますようお願いいたします。また、ワクチン被接種者を診療している医療機関におかれては、ワクチン接種後副反応と思われる症状が出現した際には、下記の医療機関へお早めにご紹介くださいますようお願いいたします。

なお、本文書は当研究班として作成したものであり、本ワクチン接種後の持続する四肢の痛みに関しては、“痛みセンター連絡協議会所属医療機関”でも対応しております。またその成因解明は「慢性の痛み診療の基盤となる情報の集約とより高度な診療の為の医療システム構築に関する研究班」（代表者愛知医科大学牛田享宏教授）とも協調して進めております事を申し添えます。

【本研究班の所属医療機関】

- 信州大学医学部附属病院 脳神経内科(統括機関)
- 北海道大学医学部附属病院 整形外科
- 名古屋大学医学部附属病院 手の外科
- 愛媛大学医学部附属病院 ペインクリニック
- 山口大学医学部附属病院 神経内科
- 鹿児島大学医学部附属病院 神経内科

本文書に関する問合せ:信州大学医学部内科(脳神経内科、リウマチ・膠原病内科) 池田修一

TEL: 0263-37-2671, FAX: 0263-37-3427 e-mail: itamihan@shinshu-u.ac.jp

連携機関:

厚生労働研究“慢性の痛み診療の基盤となる情報の集約とより高度な診療の為の医療システム構築に関する”研究班

【患者さん紹介の流れ】

本研究班のメンバーが所属する医療機関での診察には、原則担当の医師からの紹介が必要となりますが、希望者の直接受診も受け入れます。後者の場合は本組織の統括責任者である信州大池田まで御連絡下さい。当方で希望される医療機関への受診手続きのお手伝いを致します。

以下の手順に従って、受診していただけますようお願い致します。

担当医 ①本研究班のメンバーが所属する医療機関宛の紹介状(診療情報提供書)作成。

②本研究班のメンバーが所属する医療機関の地域連携室へ予約。

(各診療施設に専用の診療情報提供書などがございますので詳細については下記ホームページでご確認ください。)

患者さんは担当医に作成してもらった紹介状を持参し、予約日に来院する。

本研究班のメンバーが所属医療機関		診療予約用連絡先
信州大学医学部 附属病院 (統括機関)	脳神経内科	外来予約センター TEL : 0263-37-3500、FAX : 0263-37-3371 ホームページ : http://www.hp.md.shinshu-u.ac.jp/medical/
北海道大学病院	整形外科	地域医療連携福祉センター紹介予約部門 FAX : 011-706-7963 ホームページ : http://www.huhp.hokudai.ac.jp/relation/community/medicalexpert/reservation.html
名古屋大学医学部 附属病院	手の外科	地域医療センター病診連携室 TEL : 052-744-2839、FAX : 052-744-2780 ホームページ : http://www.med.nagoya-u.ac.jp/hospital/1404/meidaibyoinhenogoshoukaihouhou.html
愛媛大学医学部 附属病院	麻酔科蘇生科 (ペインクリニック)	総合診療サポートセンター TEL : 089-960-5322, 5918 (直通)、FAX : 089-960-5959 ホームページ : http://www.hsp.ehime-u.ac.jp/
山口大学医学部 附属病院	神経内科	医療連携室 (診療連携室) TEL : 0836-22-2482 (直通)、FAX: 0836-22-2155 ホームページ : http://www.hosp.yamaguchi-u.ac.jp/section/71.html
鹿児島大学医学部 附属病院	神経内科	医務課外来初診予約担当 TEL : 099-275-5168、FAX : 099-275-6698 ホームページ : http://com4.kufm.kagoshima-u.ac.jp/